

共栄社がリソルグループと共同研究開発 ラフ用無人芝刈機テスト販売



困難な木立周辺なども走行可能

ゴルフ場の芝刈機を製造販

の無人化が実現できる。

売する共栄社(豊川市美幸町、林秀訓社長)は、ゴルフ運営事業などを展開するリソルグループ(本社・東京都新宿区)との共同研究で開発したBARONESS(バロネス)ラフ用無人芝刈機「UGM170」のテスト販売を開始した。

また、芝刈りを省力化するだけでなく安全な作業を実現させ、ゴルフ場の抱える大きな課題である作業スタッフの人員不足を解決できる点にも注目が集まっている。

バロネスの無人機シリーズの第2弾となるラフ用無人芝刈機「UGM170」は、共栄社独自の無人化テクノロジーを採用し、これまで無人運転が難しかった木立周辺や木に覆われたエリアでも無人走行を可能にした。さらに従来

のGPSも搭載しており、さまざまな場所でゴルフ場管理

展示する。

問い合わせは、共栄社営業部 電話0533(84)1221へ。
(吉富恵子)